ディスレクシア Dyslexia

こんなことに困っていませんか?

- 読み書きは疲れる、嫌がる
- 音読に時間がかかる、読めるが理解していない
- 逐次読み、勝手読み、指で押さえながら読む
- 漢字の誤りが多い、練習しても書けない、「教師」を「先生」と間違える
- 読み書きで特殊音節の誤りが多い、形態の似ている文字と誤る
- 字を書くのに時間がかかる、早く書けても雑で読み返せない
- 漢字を使いたがらない、句読点を書かない、マス目におさまらない

アセスメントアプリ

ディスレクシアとは、知的に問題はないものの読み書きの能力に著しい困難を持つ症状を言います。
充分な教育の機会があり、視覚・聴覚の器官の異常が無いにも関わらず症状が現れた場合に称します。脳の仕組みによってそのような症状が出ると考えられています。小学校に入ってからでないとはっきりとわかられない、ひらがな、カタカナそして漢字と進んで行く中で、困難さが顕著になる場合や、英語の学習が始まってから、大学に進んでから困難さが顕著に出ることもあります。

ディスレクシアをより深く知ってください。
ディスレクシアがあるからこそ身につけることができる力もあります。
氷山の下にあるまだ見えぬ力に目を向けてみませんか？

EDGE ホームページはこちら https://www.npo-edge.jp/

お問い合わせ edgewebinfo@npo-edge.jp

Facebook Twitter

支援・寄付

支援・寄付のお願い

エッジは、 活動の公益性が認められた 「認定 NPO 法人」 です。 ご寄付は寄付金控除の対象となります。 啓発、 具体的な支援や配慮を知るための根拠となるアセスメント、 成長したディスレクシアの人たちのネットワークつくりに充てる予定です。 ご協力よろしくお願いいたします。

認定NPO法人 EDGE

Extraordinary Dyslexic Gifted Eclectic

エッジはディスレクシア（読み書き困難）の全ての人が、活き活きと暮らせる社会を目指しています。ディスレクシアの「正しい知識の普及」と「支援」に関する情報を提供しています。

活動の成果

2001年10 月発足以来、ディスレクシアを知っていただく **啓発**、本人・保護者のエンパワメントを含む **支援** その支援ができる人材育成、そしてその関わる方の **ネットワーク** を活動の柱としてきました。発達障害にかかわる団体とネットワークを組み、議員連盟を作り、各種 **法律** を整備し、政策・施策を提案してまいりました。

パッと見この文字を読めますか？

ミカタを変える

啓発

ディスレクシアは目に見えない困難さです。どのような困難さなのか、困難さの背景・支援・合理的配慮、ディスレクシアだからの能力。より深く知ってください。

『代表 藤堂 栄子が立法に携わった法律』

発達障害者支援法、発達障害者支援法改定
障害者差別解消法
教科書バリアフリー法
読書バリアフリー法　など

講師派遣

イベント

DXセミナー　年４回

情報発信　Facebook,Twitter,YouTube, ニュースレター , メールマガジン , ブログ

EDGEのミカタになる

人材育成

e・・・・ e-Learning

子どもたちの味方となる人材（発達障害全般への支援、ディスレクシアの指導と支援を学び実践できる人材）の確保が重要です。

LSA 学習支援員養成講座

2005 年に行政との協働で始まった講座

小・中・高等学校の通常学級における発達障害の児童生徒をサポートする人材を養成
発達障害の基礎知識と具体的支援がわかるので保護者・指導員・学生にも人気！

ベーシック（入門編） e　発達障害や特別支援、子どもへの関わり方等を知る

スタンダード（基礎編）　子どもの理解、支援の基本、学校現場における支援等を学ぶ

アドバンス（実践編）　支援員の心構えや法律を学び、実践（事例検討）を行う
資格取得を目指す

コミュニティ（スキルアップ）　アドバンスコース修了生のためのコミュニティ、フォローアップ講座、各種勉強会、事例検討による、知識の定着・スキルアップを持続的に行う　意見交換や修了生同士がつながり交流する

読み書き困難指導・支援講座

e　～子どもの味方の「教え方」～

ディスレクシアや読み書きに困り感を抱えている子どもへの指導・支援の方法を学ぶ

アセッサー 養成講座

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

河野俊寛先生による
読み書き困難のメカニズム、読み書きアセスメントと意見書作成までを学ぶ講座

EDGEを活かす

エンパワメント

ディスレクシアの人たちは自分のことを理解して、仲間と出会い、周りの理解を得て、一般的な指導や学習方法とは異なる自分に合った方法や環境で、本来持っている能力を発揮していくことができます。そのために当事者と保護者のエンパワメントは欠かせません。

個別相談

どんな学習方法がいい？学校にどう伝える？仕事場でどう生かす？自分のことを知りたい！等。読み書きが困難だった場合の指導方法、支援の方法、合理的配慮、学習スキル、留学、検査についてなど LD 全般の相談。

個別アセスメント

読み書きのスピード・流暢性と正確性を客観的に測り、年齢平均と比べてどの部分がどの程度困難かを知ることができる。意見書には具体的な学習方法と学校での支援や合理的な配慮も記載。英語語彙検査もあり。

集団アセスメント

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

早期に多くの児童生徒の読み書きの困難さを見つけることができる
教育委員会・自治体・学校・塾など教育機関単位で対応
実施例：港区　通信制高校

音声教材(BEAM)

文部科学省　無償

文部科学省委託事業「音声教材の効率的な制作方法等に関する調査研究」
読むことに困難があり、特別支援を必要とする児童生徒のための教科書。
目的は読めるというより内容理解する事。あえて音だけ。

音声化事業　AITalk 声の職人で間も読み方もきれいになおします。

学習方法　おすすめの学習方法・グッズ　　DX会　成人当事者会

ミカタでつながる

ネットワーク

１人では成し遂げられないことも集合知で世の中を動かすことができます。当事者同士のネットワーク、支援者のネットワーク、またそれを取り囲む社会のネットワークでディスレクシアの人たちが活きやすい環境を育てます。

DXネットワーク